

なかつか 亮

23区では… 台東区、杉並区で妊婦健診の無料化始まる。他6区も回数拡大へ。

品川でも、妊婦健診の無料化を

今こそ!

「産休は無いからね」と言われ退社(産休は取得は法律に明記。この発言は違法です)。一気に収入が0円になり、夫婦の現金収入は、夫の収

入のみで半減に。こんな生活では、妊婦健診の費用はとても足りず受診の回数を減らした事もあった」と話します。

高すぎ!妊婦健診費用

妊娠・出産の費用はおよそ妊婦健診が10万円、分娩・入院費が計50万円、出産後に35万円が医療保険から支給されますが、



いよいよ9月20日から約一ヶ月の日程で、第3回品川区議会定例会が始まりました。初日から2日間にわたる一般質問では、共産党を代表し宮崎克俊区議と鈴木ひろ子区議が質問に立ちます。今回のニュースは一般質問で取り上げる8つのテーマのひとつ、「妊婦健診の無料化を」を紹介します。子育て支援の充実に向け力を合わせましょう

財布には一万円札

今年の11月中旬に出産予定のAさんは「毎回1万円はお財布に入れておかないと。こんなにお金がかかるなんて…」と話します。子どもを授かり、出産までに通う約14回の妊婦健診の費用は、家計に重くのしかかります。

妊婦健診の無料化を

自己負担は数十万円に。こうした負担は、不安定・低賃金の非正規雇用が拡大させた労働法制の改悪の中、子育て世代の生活をさらに、圧迫させています。

妊婦健診の無料化を

共産党は、子育て支援策の1つとして、高額な妊婦健診の無料化を02年11月に提案。その後も繰り返し取り上げ、06年の予算委員会では財源根拠を示し、予算修正を提案。区長に実現を迫りました。本会議での提案は、今回で3回目となります。

ついに、台東区、杉並区で無料化スタート

充実を願う声が 政治を動かす

現在2回の無料妊婦健診について、品川区は「現行の制度で適切」と冷たい答弁。

しかし、子育て支援の充実を求める区民の声が、少しずつですが、でも確実に世論を変え、議会を動かし始めています。

02年に共産党が提案後、05年11月に自民党が、06年3月には公明党が、それぞれ本会議で、妊婦健診の問題を取り上げ、充実を述べると、妊婦健診の負担軽減などを求める声が議会を動かし始めました。



厚生労働省の通達

全国的に広がる妊婦健診の無料化を求める運動を背景に、秋田県では、県や市町村の公費負担による無料妊婦健診の無料化が始まっています。こうした運動に押され、今年の1月には厚生労働省も「(少なくとも)5回程度の公費負担を実施する事が原則」と通達も出されました。

区内でも広がる

この通達をきっかけに、台東区や杉並区では、今年の補正予算で

妊婦健診の無料化を予算化し、さらに、江東・墨田・荒川・中央・板橋・足立の6区と、あきる野市でも拡充に向けた検討を始めると説明。品川区も、今年3月「検討する」と答弁しました。

一刻も早い品川区での実現に向け、私はあと一押しだと思います。

品川区議会が始まる

「高すぎる出産・妊娠にかかる、本人自己負担をゼロに」今年4月の区議選で訴えた、私の公約の1つです。

子育て支援の充実に向け、全力で品川区議会に挑みます。

なかつか亮

催物

あんない

色々なイベントが企画されています。一部ご紹介します。

しながわ国鉄まつり

10月21日(日) 11時~3時半

戸越公園にて

(模擬店、ミニSL、バザー、ステージ企画など)

主催：第14回 品川国鉄まつり実行委員会

連絡先：国労大井支部 3772-2042